

京都市避難所運営マニュアル改定に向けた

第3回

避難所運営マニュアル改定検討会

前回検討会・ワークショップでの
主な意見と対応

前回検討会・ワークショップでの主な意見

- ① 本編が分厚い、概要版と手引きで対応できるように
- ② 在宅避難を強調すべき
- ③ アクションカードの作成を推奨すべき
- ④ 運営者に過度な負担がかからないようマナー等周知すべき
- ⑤ 福祉避難所との連携がわかりにくい
- ⑥ DWAT等外部支援機関の記載がわかりにくい
- ⑦ 受付・相談コーナーを図中に明記すべき
- ⑧ 避難所開設セットの保管位置をわかるようにすべき

① 本編が分厚い、概要版と手引きで対応できるように

- 「概要版」を「ひな形」と改め、改定作業は、「ひな形」と「手引き」で進められるように
- 改定作業時に必要な箇所を参照できるように、「ひな形」に本編、資料編の参照すべきページを追記
- 本編が見やすくなるように、インデックスを追加

The image shows three pages from a manual. The left page is the cover of the 'Evacuation Operation Manual' for '○○学区' (○○ District), featuring a red circle around the title. The middle page is titled '3. 避難所開設準備・開設' (3. Evacuation Site Preparation and Opening) and contains a table with columns for '施設名' (Facility Name), '住所' (Address), and '備考' (Remarks). A red circle highlights a specific entry in the table. The right page is a table of contents or index, with a red circle around the '3. 避難所開設準備・開設' section.

② 在宅避難を強調すべき

- 本編p3に追記

● 在宅避難について

在宅避難は、住み慣れた環境で避難生活ができます。ハザードマップ等で事前に自宅の安全性を確認するとともに、発災時は自宅とその周辺が安全かどうかを確認したうえで、在宅避難も検討しましょう。

また、在宅避難には普段の備えが必要です。
自宅の耐震化や市民備蓄で在宅避難に備えましょう。

資料編

各種様式(P.70)
⑩備蓄チェックシート

③ アクションカードの作成を推奨すべき

- アクションカード(ひな形)を新たに準備
- 本編p11および資料編p8に活用方法を明記



④ 運営者に過度な負担がかからないようマナー等周知すべき

- 資料編p67に掲示用ポスター例を追加



⑤ 福祉避難所との連携がわかりにくい

- 本編p33に「福祉スペースに移送後の対応」を追記

福祉スペースに移送後の対応

- 区役所災害対策本部の保健師等が、健康相談等を実施し、必要に応じて福祉避難所への移送について調整を行います。
- 体調不良の程度等によっては、緊急入院や社会福祉施設への緊急入所などの対応を行います。

⑥ DWAT等外部支援機関の記載がわかりにくい

- 資料編p48に㉓外部支援団体一覧を追加

団体名	概要	連携先
京都府立総合支援学校	●平成26年度、当校の障害者学級・特別支援学級の児童生徒に個別指導・心療ケア、学習支援等の支援を行うため、心身障害児会（心身障害児会）と連携し、学習支援等の支援を行う。また、心身障害児会から派遣された支援員が、当校の特別支援学級の授業支援や生活指導を行う。	心身障害児会

⑦ 受付・相談コーナーを図中に明記すべき

- 本編p15に「相談受付コーナー」を追記
- 本編p16に「相談対応スペース」を追記



⑧ 避難所開設セットの保管位置をわかるようにすべき

- 資料編p6に位置図貼付シートを追加

⑤ 避難所開設セットの使い方

ポイント

- 各避難所に配置されている運営資機材・感染拡大防止対策用物品等は、次ページの一覧のとおりです。
- 避難所開設セット（次ページ10）には、a～rの物品が入っています。



※避難所開設セット位置図を地域で作成し、貼り付けます。

地域展開に向けた支援について

地域展開のスケジュール

<参考：現行マニュアル策定時のスケジュール>

平成24年10月 京都市避難所運営マニュアルを策定



以降、避難所ごとのマニュアルを策定



平成26年度に全ての避難所でマニュアル策定が完了

地域展開のスケジュール

<今回のスケジュール>

令和7年度末 京都市避難所運営マニュアルの改定



令和8年度以降 避難所ごとのマニュアルを更新



3箇年程度で全ての避難所でマニュアル更新を完了

地域展開に向けた支援（令和8年度予算案）

< 令和8年度予算案 > ※市会で審議中

【事業名】京都市避難所運営マニュアルの地域展開

【予算額】38,700千円【新規】

令和8年度以降、改定した京都市避難所運営マニュアルの地域展開（避難所ごとのマニュアルの更新）を推進し、災害時の円滑な避難所の開設・運営と安心・安全で尊厳ある避難生活の実現を目指す。

地域展開に向けた支援（事業概要①）

**地域展開の推進のため、
地域主体の取組が円滑に進むよう支援**

① 自主防災会の役員等を対象にした研修会の開催

改定の趣旨や避難所運営の基本指針を説明、マニュアル更新に当たっての進め方やポイントを解説

② 専門家とも連携した地域における取組への伴走支援

専門家とも連携し、区役所・支所職員による伴走支援を実施

地域展開に向けた支援（事業概要②）

③ マニュアル更新手順を説明する動画の作成

改定した避難所運営マニュアルに沿った運営方法や、避難所で担うべき役割等を視覚化。地域展開の場での活用のほか、広く市民啓発にも活用

④ 各避難所のマニュアル印刷を支援 など

地域展開に当たって

地域展開に当たっては、地域で避難所の開設・運営を担っていた
だく自主防災会等との連携が必要

マニュアル更新を契機として、各区・支所が自主防災会等との連
携を一層深め、地域の防災力向上につなげていく。

事務局からの連絡
